

## ブラジル国サンパウロ州レジストロ植民地における 民具からみた日本移民の生活史の研究

期間：2019年4月1日～2022年3月31日  
〔代表者〕福澤一興（レジストロ日伯文化協会）  
〔共同研究者〕  
清水ルーベンス武（レジストロ日伯文化協会）  
永井美穂（渋沢史料館）

脇岡明美（Instituto Federal de São Paulo - Câmpus  
Registro）  
吉村 竜（首都大学東京大学院人文科学研究科  
博士後期課程）  
泉水英計（日本常民文化研究所）

### レジストロ植民地における移民の暮らしの変遷と民具

研究代表者 福澤 一興

#### 【目的】

レジストロ植民地（旧イグアッペ植民地）はブラジル日本移民植民地の一つで、殖民を目的として造成された。これまでにさまざまな調査研究が実施されてきたが、移民の暮らしの変遷に関しての資料は少ない。特に暮らしに欠かすことができない民具に関しては地元の移民史料館においても収蔵品数は十分とは言えない。そこで本共同研究では、主に農村部に住む日本人・日系人へ聞き取りと民具の調査を実施し、民具を収集することにより、入植以来の日本人・日系人の暮らしがどのような変遷を経て今日に至ったかを明らかにする。そのさいには、他の日系植民地の状況を視野に入れ実地調査をおこない、比較研究によりレジストロ植民地の特徴をより明確にする。

なお、日本にいるメンバーも含めた全員で、隔月でオンライン会議を実施し、調査についての情報、意見交換をおこなった。



写真1 米作り植民地には欠かせない唐箕。何年ごろから使い始めたかは調査中

## 【2019 年度の活動】

調査研究対象であるレジストロ植民地は、最盛期には 400 戸を超える日本人入植家族が主に農業を営んでいたが、時代の移り変わりとともに植民地内の戸数は減少をたどり、現在は五十数家族を数えるに過ぎなくなった。一方で、入植初期においては海外興業株式会社があった市街地と呼ばれていた地域は植民地の中心であり、耕地からの流出家族及びほかの地方からの流入により人口の増加が続き、リベイラ沿岸地方の中心都市として発展し続けている。

そこで本年度は、まず、農村部を中心にそこに住んでいる家族への聞き取り調査、並びに、多くが放置されている古い民具を探し出し撮影・記録しておくことを調査活動の主眼とした。

五十数家族には戦後移住者家族も 15 家族含まれているが、本年度は戦前移民家族のなかからおもに初期入植家族を選び出し調査を実施した。なお、戦後移住家族に関しては、第 2 年度に調査を実施し、当植民地にどのような影響をもたらしたか調査したいと考えている。

本年度は、個人への聞き取り調査 27 件、農家を訪問しての民具調査が 7 件であり、このほかに隣接するイグアッペ市で 1 件の調査をおこなった。また、初期移民の食生活の調査の一つとして、当時自家製造されていたバナナの酢と、肉の保存法については実際に試作を試みて検証した。さらに、5 部（ラポーザ地区）の集落で手作業によりおこなわれた沼地の開墾と米作りの共同作業に参加し、農具の使用法を学び、昔ながらの農作業体験をした。くわえて、GPS を使用して、現存する移民家屋の正確な位置確認と海外興業株式会社が造成した植民地内の道路の変遷の調査を開始した。以上は主に福澤が担当したが、随時清水と肱岡が同伴した。

以上の調査活動を通じてみてきたのは、移民の暮らしに大きな変化が起きたのは国道の開通・農村に電力が普及した 1960 年末からであったということである。

民具については、周囲の植民地に入植したヨーロッパ系移民の持参あるいは製造した民具と、先住民の使用していた民具、そして日本移民が持ち込んだ民具の 3 種の民具があるが、さらに、当地にて改良された民具もあると思われる。これを示す好例として鎌がみいだされた。

今年度の調査活動では、バストスとトメアスー、フンシャル植民地にも赴き調査をおこなった。

バストス調査は福澤と肱岡の 2 名で 12 月 21 日から 12 月 26 日に実施した。バストス日系文化体育協会を拠点として、バストス農村シンジケート、山中三郎記念地域史料館、バストス本派本願寺、市営共同墓地、藪田養鶏場、バストス日本語学校、第 1 期住宅 2 戸を訪問した。個人への聞き取りは 5 件、バストス日系文化体育協会の現会長・元会長 4 名への聞き取り調査であった。民具に関しては、史料館展示物と収蔵品の撮影をおこなった。このほかにバストス入植 15 周年、25 周年、40 周年、45 周年のアルバムの全頁を撮影複写した。『バストス日系移民八十年史』（バストス日系移民八十年史編纂委員会、2010 年）と「バストス日系世帯名簿」（ポルトガル語／バストス日系文化体育協



写真 2 初期移民の二世が旅先で見つけ作成した砥石植民地内に散見できる



写真 3 田舎のどの家にもある農具 3 点ファコン（山刀）、フォイッセ（伐採具）とエンシャード



写真4 茶摘み籠。チンボーというヤドリギの一種の気根を利用してつくられた先住民の民具の一つ

会、2014年）の提供も受けた。

パラ州トメアスー植民地調査は、2020年1月6日から1月13日に、福澤と肱岡の2名で実施した。トメアスー文化農業振興協会を拠点として、COOPERATIVA AGRICOLA MISTA DE TOME-AÇU（略称CAMTA）、トメアス文化農業振興協会会館内の資料館、旧日本語学校、元ピメンタ選別工場建物、留安寺、CAMTA果樹加工工場、アグリフォレスト農場3か所、ココア乾燥施設、第2トメアスー植民地、市営共同墓地、CAMTA直売所、記念に残された第1期移民家屋を視察した。個人への聞き取りは8件をおこなった。民具に関しては資料館展示品を撮影、2戸の個人住宅を訪問して民具を撮影した。このほか資料館内に展示されている南米拓殖会社発行の設立趣意書、トメアスー開殖25周年アルバム、トメアスーに関する新聞記事、トメアスー70周年記念誌を撮影複写した。1月11日、ベレン市内のインデオ博物館、ベレン市資料館を見学した。

2020年1月15日から1月20日には、リオデジャネイロ州フンシャル植民地調査を福澤と肱岡の2名で実施した。津守真フンシャル文化体育協会会長の案内を受け、訪問先は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の支援で開校した公立小学校、個人宅2戸、元移民収容所、マカエ共同墓地であった。個人への聞き取りは2件をおこなった。帰路、リオデジャネイロ州歴史と美術博物館見学、リオデジャネイロ市内のリオ日本移民史料館にて、展示されている民具と日本語学校生徒の作文集の撮影をおこなった。

## ■ 2019年度の活動

- 2019年度第1回共同研究会（テレビ会議） 2019年4月4日 福澤一興・清水ルーベンス武・泉水英計・永井美穂・肱岡明美・吉村竜
- 莫産製造関連聞き取り調査 2019年4月24日 レジストロ日伯文化協会 福澤一興
- レジストロ市第3部（農村部）在住者宅民具調査、民具・暮らし関連聞き取り調査、第4部出身者に暮らし・終戦直後の状況・使用言語の聞き取り調査 2019年5月2日・3日 ブラジル連邦共和国サンパウロ州レジストロ市 福澤一興
- 第1部在住者宅訪問、蘭草刈り取りから莫産加工までの工程、織機、型板の作成法、工具、蘭草導入経過、栽培方法等の聞き取り調査 2019年5月9日・12日 レジストロ市 福澤一興・肱岡明美
- 第4部出身者に暮らし関連聞き取り調査 2019年5月21日 レジストロ市 福澤一興
- 第2部在住者宅民具調査、聞き取り調査 2019年5月28日 レジストロ市 福澤一興
- 第2回共同研究会（テレビ会議） 2019年6月4日 福澤一興・清水ルーベンス武・泉水英計・永井美穂・肱岡明美・吉村竜

- 初期移民の自家製造バナナ酢・豚肉のラード漬けを試作・実験開始 2019年6月8日 レジストロ市 福澤一興
- 第2部在住者宅訪問、家系・暮らし関連聞き取り調査、仏壇・大工道具調査 2019年6月10日 レジストロ市 福澤一興
- 第3部在住者宅訪問、民具調査・聞き取り調査 2019年6月15日 レジストロ市 福澤一興
- 第2部入植者宅訪問、第3部在住者宅訪問、家族関連聞き取り調査、民具調査 2019年6月18日・19日 レジストロ市 福澤一興
- レジストロ市在住者宅訪問、ドアルチーナのコーヒー園での暮らしの聞き取り調査 2019年6月21日 レジストロ市 福澤一興
- 第1部在住者宅訪問、竹の栽培、品種と加工法の聞き取り調査、第5部出身者宅訪問、家系・実家等の聞き取り調査 2019年6月25日・26日 レジストロ市 福澤一興・脇岡明美
- レジストロ市移民者宅訪問、戦後呼び寄せ単独移住関連聞き取り調査 2019年6月28日 レジストロ市 福澤一興
- 先住民の民具調査 2019年7月1日 イグアッペ 脇岡明美
- バナナ酢再試作 2019年7月13日 レジストロ市 福澤一興
- 先住民インディオ文化および当地への経路調査 2019年7月14日 カナネイア市立博物館 福澤一興・脇岡明美
- レジストロ市移住者宅訪問、聞き取り調査、第4部出身者宅民具調査 2019年7月18日・19日 レジストロ市 福澤一興
- 第4部出身者に戦時下の暮らし関連聞き取り調査 2019年7月26日 レジストロ市伯文化協会 福澤一興
- 第3回共同研究会（テレビ会議）、第2部在住者宅民具調査 2019年8月1日 レジストロ市 福澤一興・清水ルーベンス武・泉水英計・永井美穂・脇岡明美・吉村竜
- 第2部在住者宅訪問、民具調査および聞き取り調査 2019年8月4日 レジストロ市 福澤一興
- レジストロ市在住者に父親の米作、バナナ栽培、砂糖製造関連聞き取り調査 2019年8月8日 レジストロ市 福澤一興
- 清水農場訪問、作物（観葉植物アンズリュウム栽培）ハウス、農具調査 2019年8月7日 レジストロ市 福澤一興・清水ルーベンス武・脇岡明美
- 第4部在住者宅訪問、民具調査、入植者に1960年代の植民地の受け入れ態勢、暮らし関連聞き取り調査 2019年8月9日 レジストロ市 福澤一興
- 第5部集落にてもち米栽培（共同作業）用沼地の伐採・整地作業見学、収穫までの作業方法・農具使用方法調査 2019年8月10日 レジストロ市 福澤一興・清水ルーベンス武・脇岡明美
- 第1部在住者に茶摘み等の聞き取り調査 2019年8月13日 レジストロ市 福澤一興
- 第2部在住者宅訪問、家具・民具調査、および聞き取り調査 2019年8月15日 レジストロ市 福澤一興
- 第4部旧家屋調査 2019年8月17日 レジストロ市 福澤一興・脇岡明美
- 第5部移民者宅訪問、莫産加工、暮らし関連聞き取り調査、民具調査 2019年8月24日 レジストロ市 福澤一興・清水ルーベンス武
- 第4部出身者に栽培作物と農作業関連聞き取り調査 2019年10月2日 レジストロ市 福澤一興
- 第2部在住者に日本人医師に関する聞き取り調査、民具調査 2019年10月25日 レジストロ市 福澤一興
- イグアッペ第5回桂祭りにおける民具展示会調査 2019年11月9日 イグアッペ 福澤一興・脇岡明美
- レジストロ植民地資料・古関徳弥資料複写 2019年11月14日 サンパウロ人文科学研究所 福澤一興・脇岡明美
- 第5部在住者に莫産製造関連聞き取り調査 2019年11月16日 レジストロ市 福澤一興
- 第5部在住者に入植時関連聞き取り調査、家系、家屋増築、作物の変遷関連聞き取り調査 2019年11月20日 レジストロ市 福澤一興・清水ルーベンス武・脇岡明美
- サンパウロ州内の農具の比較研究 2019年12月28日～2020年1月2日 レジストロ市 福澤一興・清水ルーベンス武・泉水英計・脇岡明美・吉村竜
- レジストロ植民地と他植民地との比較調査 2019年12月21日～26日、2020年1月6日～13日、2020年1月15日～20日 サンパウロ州バストス植民地、パラ州トメアスー植民地、ベレン市インディオ博物館、ベレン市資料館、リオデジャネイロ州ファンシャル植民地 福澤一興・脇岡明美
- 第5部ラボーザにて糯米刈り、作業調査 2020年2月7日・14日 レジストロ市 福澤一興・清水ルーベンス・脇岡明美
- 人文研創設10年誌（複写）資料調査ほか 2020年2月25日 サンパウロ人文科学研究所 福澤一興
- GPSによるレジストロ植民地内家屋の位置調査、第4部・第5部道路について植民地地図との比較調査 2020年3月7日 レジストロ市 福澤一興・清水ルーベンス武
- 第2部・第3部道路について植民地地図との比較調査、在住者宅民具調査 2020年3月8日 福澤一興・清水ルーベンス武・脇岡明美
- 第5部道路調査 2020年3月12日 レジストロ市 福澤一興・清水ルーベンス武